



平成30年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年10月30日

上場会社名 内外トランスライン株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 9384 URL <http://www.ntl-naigai.co.jp/>  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 常多 晃  
 問合せ先責任者(役職名) 取締役経営企画部長 (氏名) 三根 英樹 (TEL) 06-6260-4800  
 四半期報告書提出予定日 平成30年11月9日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年12月期第3四半期の連結業績(平成30年1月1日~平成30年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年12月期第3四半期	17,144	6.5	1,098	2.9	1,109	0.0	735	△16.1
29年12月期第3四半期	16,093	8.2	1,067	18.6	1,108	29.9	877	49.9

(注) 包括利益 30年12月期第3四半期 634百万円(△31.5%) 29年12月期第3四半期 925百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年12月期第3四半期	75.85	—
29年12月期第3四半期	90.44	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年12月期第3四半期	10,713	8,304	72.9
29年12月期	10,107	7,974	74.2

(参考) 自己資本 30年12月期第3四半期 7,808百万円 29年12月期 7,497百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年12月期	—	15.00	—	17.00	32.00
30年12月期	—	16.00	—		
30年12月期(予想)				16.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年12月期の連結業績予想(平成30年1月1日~平成30年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,000	5.9	1,700	13.3	1,750	10.2	1,300	9.0	134.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年12月期3Q	10,698,000株	29年12月期	10,698,000株
② 期末自己株式数	30年12月期3Q	991,371株	29年12月期	1,001,019株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年12月期3Q	9,701,860株	29年12月期3Q	9,697,012株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成30年1月1日～平成30年9月30日)におけるわが国経済は、企業業績や個人消費の堅調な推移に伴い景気回復基調が続きました。しかしながら、国際的には米中貿易摩擦の増幅拡大が及ぼす世界経済の混乱懸念、国内では大阪、北海道の地震、台風や豪雨等の自然災害による被害がもたらした景況感の悪化等、先行き不透明な状況からは依然脱出できておりません。

一方、当社業績に大きな影響を及ぼすわが国の貿易については、輸出、輸入とも対前年同四半期比において当四半期連結累計期間を通じて増加しており、この傾向は特にアジア、中国を中心に持続しております。

このような状況の下、当社グループは、第3次中期経営計画(平成29年1月～平成31年12月)の中間年度となる今期、次期の最終年度へとつながる成果を残す覚悟をもって全社を挙げて、日々、努力を重ねております。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は17,144百万円(前年同四半期比6.5%増)、営業利益は1,098百万円(同2.9%増)、経常利益は1,109百万円(同0.0%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は735百万円(同16.1%減)と、売上高、営業利益、経常利益は前年同四半期を上回りましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益において、前期は特別利益を計上したこともあり今期は前年同四半期を下回りました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

#### ①日 本

日本における国際貨物輸送事業につきましては、混載貨物輸出を主力としております。当第3四半期連結累計期間における売上高は、単体の輸出売上が混載輸送及びフルコンテナ輸送においていずれも増加しました。しかしながら、混載輸送では売上単価がやや低下し、仕入単価が上昇したことにより売上総利益が減少し、一方、フルコンテナ輸送においても売上単価が低下しましたが、数量の増加がこれをカバーし売上総利益は前年同期比プラスとなりました。また、国内子会社では、株式会社ユーシーアイエアフレイトジャパンの売上高が前年同四半期売上高を大幅に上回るなど、「日本」セグメントにおける売上高及び利益(営業利益)は、増収増益となりました。

この結果、売上高は、11,473百万円と前年同四半期と比べ697百万円(6.5%増)の増収となり、セグメント利益(営業利益)は685百万円と前年同四半期と比べ47百万円増加(7.4%増)し、増収増益となりました。

#### ②海 外

当社グループはアジア地域及び米国に連結子会社10社を有しており、これらの子会社の売上は日本からの貨物の取扱が中心となります。「海外」セグメントにおける当第3四半期連結累計期間の売上高は、内外銀山ロジスティクス株式会社、上海内外特浪運輸代理有限公司等の売上寄与により増収となりましたが、セグメント利益(営業利益)では減益となりました。

この結果、売上高は、5,671百万円と前年同四半期と比べ354百万円(6.7%増)の増収となりましたが、セグメント利益(営業利益)は431百万円と前年同四半期と比べ16百万円減少(3.8%減)しております。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は10,713百万円(前連結会計年度末比605百万円増加)となりました。増加の主な理由は、現金及び預金の増加407百万円、売掛金の増加57百万円及びインド現地法人の倉庫増床等による建物及び構築物の増加97百万円等によるものであります。

負債は2,409百万円(同275百万円増加)となりました。増加の主な理由は、買掛金の増加92百万円及び賞与引当金の増加138百万円等によるものであります。

また、純資産は8,304百万円(同329百万円増加)となりました。増加の主な理由は、利益剰余金の増加415百万円及び為替換算調整勘定の減少114百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当連結会計年度（平成30年12月期）の業績につきましては、平成30年2月9日に公表いたしました通期の業績予想を変更しておりません。

今後の見通しにつきましては、業績予想に関し、修正の必要が生じた場合には、速やかに開示する予定であります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,101,213	5,508,647
売掛金	1,577,852	1,635,031
その他	614,732	584,499
貸倒引当金	△9,767	△3,926
流動資産合計	7,284,031	7,724,252
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,444,301	1,541,901
その他(純額)	544,450	548,605
有形固定資産合計	1,988,751	2,090,506
無形固定資産		
のれん	117,386	93,627
その他	48,507	75,270
無形固定資産合計	165,894	168,898
投資その他の資産		
その他	976,710	1,050,012
貸倒引当金	△307,466	△320,071
投資その他の資産合計	669,244	729,941
固定資産合計	2,823,889	2,989,346
資産合計	10,107,921	10,713,598

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,058,640	1,150,841
未払法人税等	223,288	192,477
賞与引当金	12,469	150,811
その他	401,289	475,055
流動負債合計	1,695,686	1,969,186
固定負債		
退職給付に係る負債	283,413	293,040
その他	154,470	147,175
固定負債合計	437,883	440,215
負債合計	2,133,570	2,409,401
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	243,937	243,937
資本剰余金	233,937	241,997
利益剰余金	7,720,434	8,136,172
自己株式	△1,020,578	△1,010,833
株主資本合計	7,177,730	7,611,273
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	32,058	23,931
為替換算調整勘定	291,805	177,567
退職給付に係る調整累計額	△3,954	△3,974
その他の包括利益累計額合計	319,908	197,524
非支配株主持分	476,711	495,398
純資産合計	7,974,350	8,304,196
負債純資産合計	10,107,921	10,713,598

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年9月30日)
売上高	16,093,281	17,144,710
売上原価	11,650,758	12,536,579
売上総利益	4,442,522	4,608,130
販売費及び一般管理費	3,374,672	3,509,667
営業利益	1,067,850	1,098,462
営業外収益		
受取利息	16,556	29,721
為替差益	4,431	—
不動産賃貸料	22,115	22,772
その他	12,422	10,909
営業外収益合計	55,526	63,403
営業外費用		
支払利息	1,899	—
不動産賃貸費用	3,583	3,581
為替差損	—	37,013
支払手数料	8,934	11,784
その他	213	279
営業外費用合計	14,631	52,657
経常利益	1,108,744	1,109,207
特別利益		
固定資産売却益	185	84
投資有価証券売却益	102,259	—
特別利益合計	102,444	84
特別損失		
固定資産除売却損	206	3,007
施設利用会員権売却損	—	485
施設利用会員権評価損	—	934
本社移転費用	—	12,482
特別損失合計	206	16,909
税金等調整前四半期純利益	1,210,982	1,092,382
法人税、住民税及び事業税	338,652	381,798
法人税等調整額	△25,745	△56,759
法人税等合計	312,907	325,038
四半期純利益	898,074	767,344
非支配株主に帰属する四半期純利益	21,050	31,449
親会社株主に帰属する四半期純利益	877,024	735,895



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年9月30日)
四半期純利益	898,074	767,344
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,197	△8,126
為替換算調整勘定	26,161	△124,797
退職給付に係る調整額	88	△20
その他の包括利益合計	27,447	△132,944
四半期包括利益	925,522	634,399
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	894,753	613,510
非支配株主に係る四半期包括利益	30,768	20,888

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自平成29年1月1日至平成29年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	日本	海外	計		
売上高					
外部顧客への売上高	10,776,444	5,316,837	16,093,281	—	16,093,281
セグメント間の内部売上高 又は振替高	253,767	566,273	820,040	△820,040	—
計	11,030,211	5,883,110	16,913,322	△820,040	16,093,281
セグメント利益	638,434	448,382	1,086,817	△18,966	1,067,850

(注) 1. セグメント利益の調整額△18,966千円には、のれん償却額△18,947千円及びその他調整額△19千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとののれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間(自平成30年1月1日至平成30年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	日本	海外	計		
売上高					
外部顧客への売上高	11,473,556	5,671,153	17,144,710	—	17,144,710
セグメント間の内部売上高 又は振替高	256,421	571,927	828,348	△828,348	—
計	11,729,977	6,243,081	17,973,059	△828,348	17,144,710
セグメント利益	685,947	431,491	1,117,439	△18,976	1,098,462

(注) 1. セグメント利益の調整額△18,976千円には、のれん償却額△18,947千円及びその他調整額△28千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとののれん等に関する情報

該当事項はありません。